

運転操作

警告

作業を開始する前に、ログスプリッタを安全に操作するために、次の指示および安全性情報を確認してください。

これらの規定に従わないと、飛来物、火傷、火災、落下、転倒等により、可動部が潰れたり、裂けたり、もつれたり、一酸化炭素中毒を起こし、運転者や見物人が重傷を負う可能性があります。

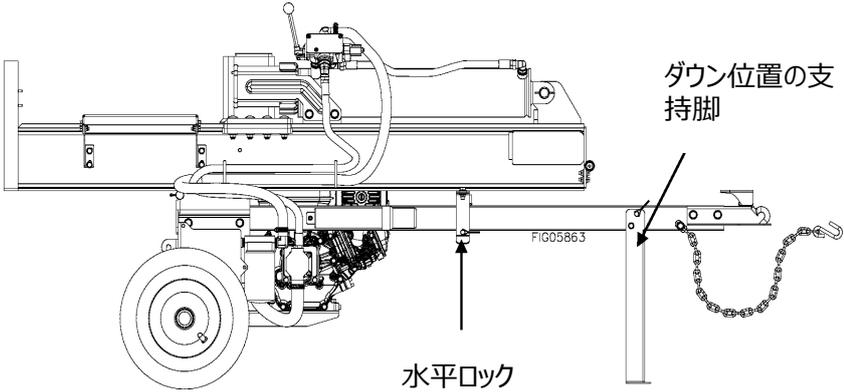
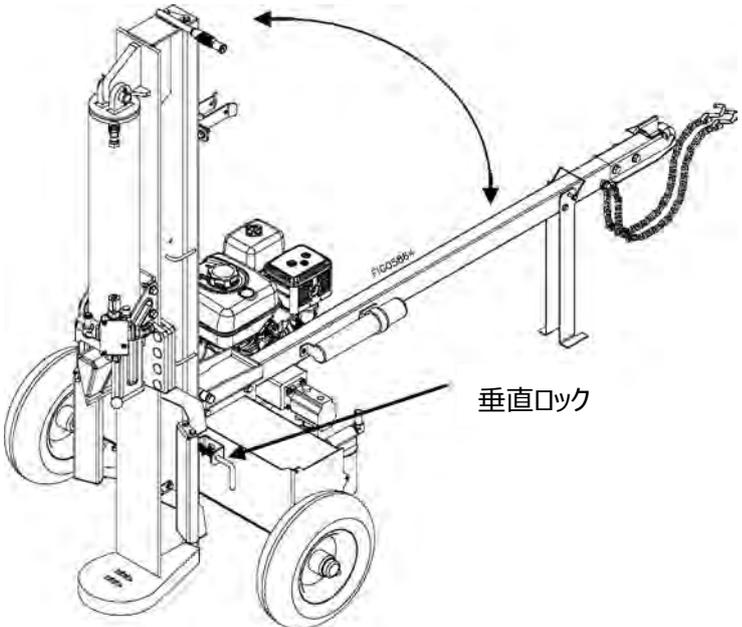
一般的な安全性情報

- 取扱説明書を読んだり、ログスプリッタの安全な使用方法を指示されたりしていない方は、ログスプリッタを操作しないでください。ログスプリッタの所有者は、すべてのオペレータに安全な操作方法を指示する必要があります。
- 子供にログスプリッタを操作させないでください。
- ログスプリッタは木材の縦方向の分割にのみ使用してください。不測の事態を招く恐れがありますので、他の用途には使用しないでください。
- ログスプリッタは絶対に改造しないでください。改造すると、重大な安全上の問題が発生し、保証対象外となります。
- ログスプリッタには、純正のパーツやオプション品以外は取り付けないでください。
- エンジンの最高速度は安全限界に設定されています。エンジン回転数の設定を変更して、より高い速度で運転しないでください。
- 排気システム、燃料タンク、燃料ラインを変更または追加しないでください。火災の原因となります。
- ロープ、ケーブル、またはその他のリモートデバイスをコントロールレバーに取り付けしないでください。
- ウェッジの改造は絶対いしないでください。
- 絶対にポンプやコントロールバルブの設定圧力を上げないでください。
- すべての安全装置が適切な場所に設置され、正常に作動し、すべての制御装置が安全に作動するように適切に調整された状態で、ログスプリッタを常に作動させてください。
- すべての制御および装置の適切な使用方法について十分に理解してください。必要に応じてログスプリッタを停止し、システムの圧力を迅速に軽減する方法を習得します。
- ログスプリッタは、常に製造元の推奨速度で操作してください。エンジンポンプとウェッジの最高速度は、安全限界内にあらかじめ設定されています。
- ログスプリッタを使用するのは、作業内容を確認できるように、昼間だけにしてください。
- ログスプリッタ操作中は絶対にタバコを吸わないでください。また、火気の近くでは絶対に使用しないでください。
- アルコール、薬物、薬物の影響下でログスプリッタを操作したり、他の人に操作させたりしないでください。
- エンジン運転中は絶対に機械から離れないでください。
- 少なくとも3分はエンジンが冷めるまでは給油しないでください。
- スプリッタのクリーニング、修理、調整を行う前には、必ずエンジンがオフになっていることを確認してください。ただし、製造元が推奨する場合を除きます。さらに、ホース、チューブ、継手、その他のコンポーネントなど

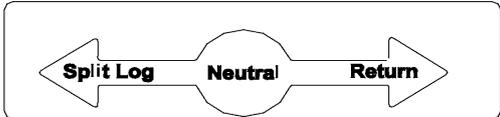
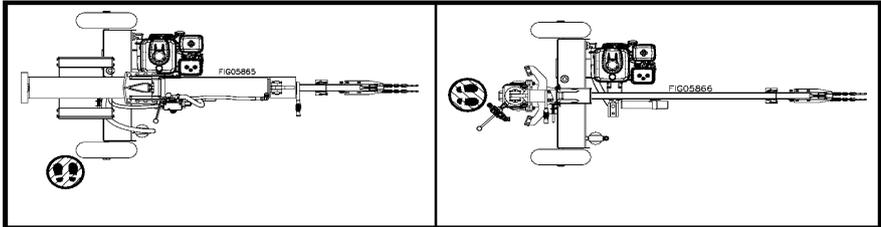
の油圧システムコンポーネントを変更または調整する前に、コントロールハンドルを前後に動かしてシステムの圧力を軽減します。

- 安全ラベルが正しく貼られていることを常に確認してください。安全ラベルがないか、判読できない場合は、安全でない操作が行われる可能性があるため、新しいラベルを注文してください。

1	防護服/防具 を着用する	<p>次の保護衣と安全装置を着用してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.機械を操作するときは、必ず安全眼鏡またはゴーグルを着用してください。丸太片が飛び出すことがあり、眼に重篤な損傷を与えることがあります。 2.丸太が倒れて足がつぶれることもあります。安全靴または重いブーツを使用して、作業を行ったり、丸太を積み込む作業を行ってください。 3.ぴったりフィットする手袋を着用してください。 4.耳栓などの聴覚保護具の使用が推奨されます。 5.だぶだぶの衣服をご遠慮ください。衣服が緩んだり、ぶら下がったりすると、可動部分に引っかかることがあります。宝石類やゆったりした衣服は絶対に着用しないでください。
2	本機固定	<p>ログスプリッタが意図しない動きをしないように、ホイールを固定します。次の点を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.支持脚部は、DOWN 位置にロックされる。 2.タイヤの固定。
3	水平または垂直に設定	<p>ログスプリッタを水平分割位置または垂直分割位置のいずれかに設定します。水平分割位置は、ビームに容易に載せることができる軽量のログに使用されます。垂直分割位置は、ビームへ載せることが困難な重い丸太に使用されます。</p> <p>注意：</p> <p>適切な体力ない場合、または丸太が人の体格、体重、または力に対して重すぎる場合、丸太をビームに持ち上げた結果、筋骨格の損傷が生じることがあります。垂直分割位置を使用すると、丸太をスプリッタ上に持ち上げる必要性を大幅に減らすことができ、楽に作業できます。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エンジンの作動中に作業位置を変更しないでください。マフラーに触れてひどいやけどを負うことがあります。</p>
3.1	水平位置に設定	<p>水平ロックを確認して、ビームが水平位置で確実にロックされていることを確認します。支持脚のダウン位置の固定を確認します。</p>

		
3.2	垂直位置に設定	<p>1. 水平ロックキャッチピンを引き出し、リフティングハンドルを握り、回転して次の垂直位置に来るまでビームを持ち上げます。重いので慎重に作業します。</p> <p>⚠ 警告 ビームは重いので、そのまま落とさないでください。指を怪我したり、スプリングが破損する恐れがあります。</p> <p>垂直分割位置</p>  <p>2. 垂直ロックピンを使用して垂直位置でロックします。</p> <p>3. 水平位置に戻すには、垂直位置のロックを解除し、リフティングハンドルと下部ビームをコントロールしながら、注意深くつかんでトウバーに載せ、キャッチピンでビームを水平位置にロックします。</p> <p>重いので慎重に作業してください。</p>
4	エンジンの始動	エンジンの始動方法については、エンジン取説を参照してください。

		<p>⚠ 警告</p> <p>やけど防止のため、停止直後のエンジンを始動する場合は、マフラーから離れてください。運転中のエンジンからは一酸化炭素という有毒ガスが発生し、人を死に至らしめます。匂いを嗅いだりしないでください。ログスプリッタ使用中に気分が悪くなったり、めまいがしたり、体が弱ったりしたら、すぐにエンジンを切って空気を入れ替えてください。医者に診てもらってください。一酸化炭素中毒の可能性があります。</p>
5	ログのセット	<p>ビームにログをセットします。(下記のイラスト参照)</p> <p>注意</p> <p>a)ログスプリッタは木目を縦方向に切断するように設計されており、木目を横切るようには設計されていません。</p> <p>b)このログスプリッタは、概ねログ長 60cm,直径 40cm 程度までの木材を処理するように設計されています。</p> <p>正しいログの向き、誤ったログの向き</p> <div data-bbox="523 943 1414 1227" data-label="Image"> </div> <p>⚠ 警告</p> <p>ログスプリッタの操作中は、必ずエンドプレート、ウエッジ、丸太から手と足を離してください。</p> <p>安全に関する重要な指示:</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸太をビームにセットする時は、木の皮側を持ち、木口を持たないこと。丸太とウエッジの間に手や体の一部を入れないでください。 丸太をエンドプレートに置き、ビームに寄りかかり安定するまで回転させます。丸太が大きすぎたり、形が変だったりする場合は、丸太とエンドプレートまたは地面の間に木製のシムを入れて安定させます。ログを安定させるために脚や膝を使用しないでください。丸太の上に手を置いて安定させてはいけません。 ウエッジの移動。ウエッジの移動中にログをセットしないでください。 エンジンが運転中でログスプリッタが水平位置にあるときは、ビームをまたいだり、横切ったりしないでください。つまずいたり大けがをしたりすることもあります。 小口が直角に切断されていない丸太は、分割中に滑り落ちて安全上の危

		<p>険となるか、又はログスプリッタに過大な力を加えることがあります。丸太を割る前に、チェーンソーを使って両端を直角に切ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度に複数の丸太を分割しようとししないでください。丸太が不意に機械から投げ出され、重傷を負うことがあります。 木目に沿って分割します。ログスプリッタを使用して丸太を横に分割しないでください。ログスプリッタが損傷し、丸太の断片が飛び散りオペレータや見物人が負傷する可能性があります。 二股丸太を割ろうとすると、ログスプリッタが破損する可能性があります。ログを分割する前に、チェーンソーで切断します。 エンジン運転中に作業位置(水平/垂直)を変更しないでください。マフラーに触れてひどいやけどを負うことがあります。エンジン停止後も、熱いマフラーに触れないように注意してください。
6	ウェッジを動かす	<p>コントロールレバーをエンドプレートの方向に動かして、ウェッジを作動させます。</p> <p>スプリットコントロールレバー操作</p>   <p>⚠ 警告 ウェッジが戻ってくる間は、何もしないでください。リターンストロークでも大きなけがをするほど強力です。可動部に手を近づけないでください。</p>
7	ログを交換	分割されたログを交換します。。
8	使用後	<ol style="list-style-type: none"> 1.エンジンをストップ。 2.エンジンのゴミを取り除きます。 <p>高温のエンジンに付着した木の破片が火災の原因となることがあります。エンジンを切ったら、ゴミをきれいにします。エンジンシリンダヘッド、シリンダヘッドフィン、ファンハウジング/リコイルスタータ、マフラー領域。</p> <p>⚠ 警告 熱いマフラーに触れないでください。</p>

		3.水平位置に戻します。 縦置きの場合は、横置きに戻して安定性を高め、運搬準備をしてください。熱いマフラーに触れないでください
--	--	--

保管

⚠ 警告

ガソリンの蒸気が引火して火災になることがあります。熱源、火災、または火花から離れた、十分に換気された貯蔵所を選択します

次の手順に従って、使用するログスプリッタを保存します。

1	シリンダ収納	ウエッジを完全に収納して、ロッドを腐食から保護します。
2	冷却	保存の5分前に機械を冷ます。警告:高温のエンジンは火災の原因となることがあります。
3	ウエスで拭く	ビームとウエッジは腐食を防ぐために油性の布で拭いてください。
4	エンジン	<p>エンジンの正しい保管方法については、エンジンの取説を参照してください。</p> <p>注意：</p> <p>ガソリンは保管中に酸化して劣化します。エンジン内の古いガソリンは始動が困難になり、燃料システムを詰まらせる可能性のあるゴムの堆積物を残します。劣化の問題は数ヶ月以内に起こるかもしれません。</p> <p>短期保管</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 燃料貯蔵寿命を延ばすために燃料安定剤を追加するのもいいです。 2. 燃料コックレバーをOFFにして、燃料漏れの可能性を低減してください。 <p>長期保存</p> <p>燃料タンクとキャブレターは、取扱説明書の指示に従って燃料を抜いてください。</p> <p>安全に関する重要な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> • 屋外の換気の良い場所で、必ずタンクから燃料を排出してください。 • 燃料の取扱い中は、火気、火花等の熱源から遠ざけること。 • 燃料漏れ/飛散物を速やかに清掃する。
5	スプリッタ保管場所	<p>ログスプリッタは腐食性物質、熱源、裸火、火花、などのない場所に保管してください。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ログスプリッタのガスタンクが空であっても、残留ガソリン蒸気が発火する可能性があります。</p> <p>注意：</p> <p>ログスプリッタは肥料等の腐食物の近くに保管しないでください。</p>

6	ガソリン貯蔵	<p>ガソリンは、認定された密閉容器に入れ、低温で乾燥した場所に保管してください。</p> <p> 警告</p> <p>ガソリンの蒸気が格納倉庫内にたまると発火し、爆発することがあります。</p>
---	--------	---